

インバランス等収支計算書

2022年4月1日から
2023年3月31日まで

(単位 百万円)

費用の部		収益の部	
項目	金額	項目	金額
営業費用	53,201	営業収益	48,915
地帯間購入電源費	11,354	地帯間販売電源料	14,487
(インバランス対応取引費用)	(5,379)	(インバランス対応取引収益)	(6,389)
(インバランスネットティング費用)	(2,917)	(インバランスネットティング収益)	(3,518)
(広域運用調整電力量に係る費用)	(3,057)	(広域運用調整電力量に係る収益)	(4,579)
他社購入電源費	40,995	他社販売電源料	15,420
(インバランス対応取引費用)	(6,331)	(インバランス対応取引収益)	(9,617)
(インバランスの買取りに係る費用)	(25,421)	(追加供給電力量に係る収益)	(2,709)
(追加供給電力量に係る費用)	(5,379)	(追加供給力に係る収益)	(213)
(追加供給力に係る費用)	(981)		
社内取引費用	852	託送収益	17,296
(インバランス対応相当額取引費用)	(-)	接続供給託送収益	17,296
(インバランスの買取相当額取引費用)	(852)	(インバランスの供給に係る収益)	(17,296)
		(インバランスリスク料に係る収益)	(269)
		(インバランス調整に係る収益)	(-)
		社内取引収益	1,710
		(インバランス対応相当額取引収益)	(-)
		(インバランスの供給相当額取引収益)	(1,710)
		(インバランスリスク料相当額取引収益)	(15)
特別損失	-	特別利益	6
(インバランス調整に係る費用)	(-)	(インバランス調整に係る収益)	(6)
インバランス等取引利益 (インバランス等取引損失)	△4,279		

(注)

- 財務諸表作成時点で未確定のインバランス料金に係る精算額は見積値により計上している。
なお、2022年度における確定額は、営業費用50,734百万円（地帯間購入電源費11,354百万円、他社購入電源費38,528百万円、社内取引費用852百万円）及び営業収益47,192百万円（地帯間販売電源料14,487百万円、他社販売電源料15,368百万円、託送収益15,625百万円、社内取引収益1,710百万円）である。
インバランスの供給に係る電力量及びインバランスの買取りに係る電力量については、集約期間における三十分を単位とした同一の時間帯において、バランシンググループ毎の電力量を積み上げる方法で算出している。
- インバランスの供給に係る電力量 (kWh) 及びインバランスの買取りに係る電力量 (kWh)
インバランスの供給に係る電力量は843百万kWh、インバランスの買取りに係る電力量は1,219百万kWhである。また、2022年度におけるインバランスの供給に係る電力量の確定値は821百万kWh、インバランスの買取りに係る電力量の確定値は1,177百万kWhである。
- インバランスに係る債権（消費税含む）の貸倒損及び貸倒損引当から貸倒損引当戻入を控除した額は41百万円である。
- 財務諸表において事業外収益に計上されているインバランス調整に係る収益（調整期間における調整不能額）6百万円について、特別利益へ振替をしている。